資料２－１

第二次三沢市総合振興計画　前期基本計画
実績報告書【2022年度】

目　　次

【政策01】子どもからお年寄りまでの生活を守る..... 1

【政策02】互いに支えあうまちをつくる..... 3

【政策03】災害や事故から市民を守る..... 5

【政策04】充実した医療で市民を守る..... 7

【政策05】きれいな水と自然を守る..... 9

【政策06】道路・建物・公園を使いやすくする..... 11

【政策07】まちの家計を守る..... 13

【政策08】みんなが学べるまちをつくる..... 15

【政策09】まちの景気を良くする..... 17

【政策10】質の高い行政サービスを提供する..... 19

◎政策検証の評価基準

維持分野	挑戦分野					検証結果
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	**2022年度**	
100%	20%以上	40%以上	60%以上	80%以上	**100%**	A：政策を実現できた
70%以上	14%以上	28%以上	42%以上	56%以上	**70%以上**	B：政策をほぼ実現できた
50%以上	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	**50%以上**	C：政策をおおむね実現できた
30%以上	6%以上	12%以上	18%以上	24%以上	**30%以上**	D：政策をあまり実現できなかった
30%未満	6%未満	12%未満	18%未満	24%未満	**30%未満**	E：政策をほとんど実現できなかった

※維持分野は、毎年度１００%を目指します。

※挑戦分野は、５年間で１００%を最終目標に、毎年度２０%の進捗を目指します。

【政策01】子どもからお年寄りまでの生活を守る

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値(2016年度)	目標値(2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況【 維持100%、挑戦100% 】
維持	01	介護認定者のサービス利用率	87.1%	93.0%	98.3%	100%	達成
	02	障がい者からの相談対応率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	03	生活困窮者からの相談対応率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	04	相談実施回数	89回	89回	134回	100%	達成
	05	被保険者一人当たりの医療費の県平均との比較	97.1%	県平均以下	県平均以上 市平均287,395円 県平均287,171円	99.9% (県平均÷市平均)	未達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**99.98%**	**B：政策をほぼ実現できた**
挑戦	06	介護予防事業の参加者数（延べ数）	39,324人	45,000人 (5,676人増)	42,251人 (2,927人増)	51.6%	未達成
	07	子育て支援センター利用者数（延べ数）	13,417人	25,700人	42,281人	100% (目標値以上)	達成
	08	各種がん検診受診率　胃がん	18.2%	35%	16.0%	0% (基準値以下)	未達成
		大腸がん	21.5%	35%	20.2%		
		肺がん	20.7%	35%	21.2%		
		子宮がん	28.7%	45%	24.9%		
		乳がん	30.8%	45%	27.9%		
	09	生活保護世帯への訪問率	60.9%	100% (39.1ポイント増)	99.4% (38.5ポイント増)	98.5%	未達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**62.53%**	**C：政策をおおむね実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		介護福祉課
		障害福祉課
		生活福祉課
		健康推進課
①入院、入院外、歯科診療に係る給付及び高額療養に係る給付の件数が増加し、それに伴い医療費も増額となった。	特定健診及び保健指導等を推進し、被保険者の重症化・長期化を防ぎ健康保持の増進を図ることによって医療費給付の適正化に繋げる。	国保年金課
②介護予防教室の参加者の減少・固定化や、生きがいづくり教室などの担い手の高齢化による活動団体の減少などが考えられる。	マックテレビを活用した介護予防の番組を作成し、番組を定期的に放送することで、自宅でも介護予防活動の推進を図った。 今後は、団体同士の活動への情報交換ができるような場の提供や、市の事業担当が身近に相談できる相手として活動への助言や支援方法についてサポートする体制づくりを進める。また、一体的な実施に向けて多職種との連携した取り組みの強化に努め、多種多様な事業内容を検討し実施する。	介護福祉課
		子育て支援課
①新型コロナの感染防止対策として、他の人との接触を避けるため受診を控えた市民が多数いたことによるものと推測される。	おいらせ農協を会場に、国保の農業従事者を対象とした健診を実施し、費用の助成による受診率向上を目指している。	健康推進課
②訪問対象月に対象者が入院中・不在等の理由により、訪問実施できなかったケースがあった。 ※訪問率は、対象世帯のうち、訪問対象月に訪問できた世帯数の割合。	退院後に体調等を確認するため訪問したり、不在の場合は翌月も継続して訪問するなど、訪問対象月外には対象者と面談できている。	生活福祉課

【政策02】互いに支えあうまちをつくる

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	10	特殊な訓練・重大な事件事故の情報提供率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	11	市民相談機会の提供回数	48件	48件	48件	100%	達成
	12	消費者保護の情報提供回数	20回	20回	12回	60.0%	未達成
	13	交通安全・防犯対策の啓発活動件数	54件	54件	54件	100%	達成
	14	コミュニティバス（みーばす）輸送人員（延べ数）	122,399人	122,399人	94,572人	77.3%	未達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**87.46%**	**B：政策をほぼ実現できた**
挑戦	15	市民活動団体数	122団体	125団体	156団体	100% (目標値以上)	達成
	16	町内会加入の増加件数	0件	10件	15件	100% (目標値以上)	達成
	17	まちづくり市民ファシリテーターの数（延べ数）	－	18人	15人	83.3%	未達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**94.43%**	**B：政策をほぼ実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		基地渉外課
		広報広聴課
①定例行事として行っていた、社協まつりや敬老会など高齢者向けのイベント事業が、令和２年以降コロナ禍により中止したため情報提供の回数が減った。 ②広報みさわに毎月記事掲載していたものを、１回の内容を充実させることにより隔月掲載にしたため、掲載回数が減となり目標達成に至らなかった。	啓発冊子の配布や、消費者問題に関する情報を発信する場所を新たに設けるなど、情報の提供や啓発活動の充実に努めた。	生活安全課
		生活安全課
①コロナ禍により外出する利用者が減った。 ②年々減少傾向にあり、その要因としては地方圏における人口減少や都市集中の進行が考えられる。	新型コロナによる行動制限が緩和されたことにより、バス利用者数は増加する見込みであるが、今後においても親しみやすく利用しやすいバス運行ができるよう、利用促進に努めていく。	政策調整課
		広報広聴課
		広報広聴課
①コロナ禍により令和2年度からまちづくり市民ファシリテーター養成講座の開催を中止した。	今後は、市民参加のまちづくりを進めていく上での気づきやヒントを得るため、また行動のきっかけづくりのために、まちづくり講座に開催形態を変え事業を継続する。	広報広聴課

【政策03】災害や事故から市民を守る

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	18	訓練実施数	250回	250回	427回	100%	達成
	19	三沢市全体の防災訓練実施回数	1回	1回	1回	100%	達成
	20	防火対象物・危険物施設の検査実施数	500件	500件	524件	100%	達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**100%**	**A：政策を実現できた**
挑戦	21	自主防災組織の組織数	44団体	49団体	51団体	100% (目標値以上)	達成
	22	消防水利の充足率	71.4%	76%	76.1%	100% (目標値以上)	達成
	23	救命講習会受講者数	1,502人	2,000人	717人	0% (基準値以下)	未達成
	24	消防団員数	301人	320人	291人	0% (基準値以下)	未達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**50.00%**	**C：政策をおおむね実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		予防課
		防災管理課
		予防課
		防災管理課
		警防課
①コロナ禍の感染防止対策により、救命講習会開催を制限したこともあり、積極的に受講促進を実施できなかったため。	感染対策の強化を図り、受講人数を制限して救命講習会を開催した。 また、今後は新型コロナの5類移行に伴い、市民に対し広く受講を呼びかけ、感染対策を継続しながら救命講習会を開催する。さらに各種イベントにおいても広報活動を再開していく。	警防課
①新型コロナ感染防止対策の観点から、消防団行事や加入促進活動等が制限され、積極的な団員募集活動ができなかったため。	三沢市に在住または勤務する、18歳以上の方へ積極的な勧誘を行うとともに、団員募集PRイベント等を企画するなどの取り組みを実施していく。 また、若い世代に対し、SNS（FB、インスタグラム）等を活用し消防団情報を発信し、消防団活動への理解と入団を促進する。	警防課

【政策04】充実した医療で市民を守る

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	25	入院患者数（延べ数）	64,428人	70,080人	50,302人	71.8%	未達成
		外来患者数（延べ数）	95,830人	99,630人	99,128人	99.5%	未達成
	26	経常収支比率	92.6%	97.6%	100.2%	100%	達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**90.43%**	**B：政策をほぼ実現できた**
挑戦	27	市立三沢病院の職員数	261人	276人	290人	100% (目標値以上)	達成
	28	PET-CT検査件数	1,037人	1,200人 (163人増)	1,101人 (64人増)	39.3%	未達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**69.65%**	**C：政策をおおむね実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
①コロナ禍による受診控えに伴い、外来患者の減少及びそれに付随する入院患者の減少による。	地域医療連携を推進し、他の医療機関からの患者の紹介率向上に取り組む。	医事課 医事課
		管理課
		管理課
①コロナ禍により、PET-CT検査（不急）を制限したため、件数が減となった。	受診者へクーポン券を配布し、リピーターの増加に努めるとともに、ふるさと納税の特典のひとつにPET-CT検査を取り入れ、受診者の増加に取り組む。	医事課

【政策05】きれいな水と自然を守る

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	29	民間企業との会議・訓練回数	1回	1回	1回	100%	達成
	30	公害に関する苦情等への対応率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	31	不法投棄の啓発活動件数	10件	10件	10件	100%	達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**100%**	**A：政策を実現できた**
挑戦	32	下水道普及率	76.2%	83.1%	85.5%	100% (目標値以上)	達成
	33	下水道を使える人のうち実際に使っている人の割合（水洗化率）	84.8%	87.6%	89.4%	100% (目標値以上)	達成
	34	水道管の耐震化率	38.7%	45.9% (7.2ポイント増)	44.9% (6.2ポイント増)	86.1%	未達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**95.37%**	**B：政策をほぼ実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		水道課
		環境衛生課
		清掃センター
		下水道課
		下水道課
②人件費、資材単価の高騰等により、工事費が増加したため、整備延長が伸びず、目標値に達しなかった。	埋設する水道管の管種・管径等の再検討や、他工事との同時施工による工事費抑制に積極的に取り組む。	水道課

【政策06】道路・建物・公園を使いやすくする

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	35	道路に関する相談・苦情の対応率	100%	100%	100.0%	100%	達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**100%**	**A：政策を実現できた**
挑戦	36	市道の舗装率	81.0%	81.9%	82.7%	100% (目標値以上)	達成
	37	整備した歩道延長	83.3km	89.3km (6.0km増)	88.8km (5.5km増)	91.7%	未達成
	38	安全に使える公園施設の割合	80.7%	85.5%	86.8%	100% (目標値以上)	達成
	39	良好な公営住宅戸数率	85.5%	94.1%	96.8%	100% (目標値以上)	達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**97.93%**	**B：政策をほぼ実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		土木課
		土木課
②市道整備事業で0.6ｋｍを新設する予定だったが、買収計画地に複数人の共有地があり、多くの相続人調査や用地交渉に長期間要しており、用地買収が難航しているため。	民法が改正され相続登記の義務化や登記官による長期相続登記等未了土地解消作業の実施等の制度が創設されたことから、共有地問題の解決に向けて調査研究を行う。	土木課
		都市整備課
		建築住宅課

【政策07】まちの家計を守る

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	40	実質公債費比率	11.1%	18%未満	9.7%	100%	達成
	41	口座振替加入率	24.9%	24.9%	28.9%	100%	達成
	42	普通財産の使用率	24.1%	24.1%	34.0%	100%	達成
政策検証（維持分野）					**ー**	**100%**	**A：政策を実現できた**
挑戦	43	収納率	94.3%	95.1%	97.4%	100% (目標値以上)	達成
政策検証（挑戦分野）					**ー**	**100%**	**A：政策を実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		財政課
		税務課
		管財課
		税務課

【政策08】みんなが学べるまちをつくる

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	44	市内教育施設の改修進捗率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	45	教育相談への対応率	100%	100%	100.0%	100%	達成
	46	文化施設の利用者数（延べ数）	193,616人	193,616人	100,878人	52.1%	未達成
	47	運動施設の利用者数（延べ数）	314,271人	314,271人	235,746人	75.0%	未達成
政策検証（維持分野）					**－**	**81.78%**	**B：政策をほぼ実現できた**
挑戦	48	グローバル人材育成事業参加者数（延べ数）	49人	66人	39人	0% (基準値以下)	未達成
	49	地域と学校との協働活動参加者数（延べ数）	－	12,600人	9,568人	75.9%	未達成
	50	中学校３年生での英語検定（３級以上）取得率	28.1%	39.0%	47.2%	100% (目標値以上)	達成
	51	研修参加達成率	72.0%	74.0%	103.0%	100% (目標値以上)	達成
政策検証（挑戦分野）					**－**	**68.98%**	**C：政策をおおむね実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		教育総務課
		学校教育課
①コロナ禍によりイベント事業の開催回数が減少したままだったため、目標には到達しなかった。公会堂に関しては、アメリカンデーなど大きなイベントやコンサート等がなかったことも要因と考えられる。歴史民俗資料館に関しては、市内小学校による見学が見送られたことが大きく影響している。 ②図書館に関しては、来館せずとも本の貸し借りができる「電子図書館」の利用が増加していることも要因と考えられる。	公会堂事業として、現在は高齢者向けの講座などが多く、若者向けの講座が全くないことから、今後は若者を対象に参加してもらえるような企画及び講座を開催し、利用者の増加を図りたい。 図書館は、今後も「電子図書館」の利用促進を図りつつも、来館を促す人気のイベントを再開し、利用者の増加を図りたい。 歴史民俗資料館は「ものづくり体験教室」を再開するとともに周知に注力する。	生涯学習課
①新型コロナウイルスワクチン接種会場となっている施設があり、利用できる施設に限りがあったため。 ②大会等の利用が少なかったことや、スポーツ人口の減少によるものと考えられる。	令和5年度より新型コロナが5類となったことにより、各種大会等は復活してくると思われるが、各施設共に利用者数が戻らないことも予測されるため、空き時間帯の利用促進や利用者増につながるような取り組みを検討するため、指定管理者と連携し取り組んでいく。	市民スポーツ課
①コロナ禍により、姉妹都市親善使節団の派遣及びウェナッチバレーカレッジ英語派遣研修を中止せざるを得なかったため。	ウェナッチバレーカレッジ英語研修派遣事業の代替事業として、グローバル＆ダイバーシティキャンプを開催し、参加した中高生はウェナッチバレーカレッジによるオンライン授業やカナダ車いすラグビーチーム関係者とのオンライン交流、また、市長、姉妹都市委員会委員長らも参加して、ウェナッチバレー姉妹都市関係者とのオンライン交流など、姉妹都市交流事業等の継続を図ることができた。	国際交流課
①コロナ禍により行事等が縮小したため、活動人数が減少したことが原因と考えられる。	令和5年5月より新型コロナの分類が5類になったことにより、活動が戻りつつあり、今後は参加人数も増加すると考えられる。	生涯学習課
		学校教育課
		学校教育課

【政策09】まちの景気を良くする

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値（2016年度）	目標値（2022年度）	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況【 維持100%、挑戦100% 】
維持	52	展示会等のイベント出店・支援件数	8件	8件	3件	37.5%	未達成
	53	市内観光施設利用者数（延べ数）	1,028,513人	1,028,513人	742,151人	72.2%	未達成
	54	中心市街地の歩行者数	408人	408人	117人	28.7%	未達成
	55	個人・企業向けセミナー参加者数	106人	106人	87人	82.1%	未達成
政策検証（維持分野）					**－**	**55.13%**	**C：政策をおおむね実現できた**
挑戦	56	担い手への農地集積率	49.8%	65.0% (15.2ポイント増)	60.7% (10.9ポイント増)	71.7%	未達成
	57	主力魚種の魚価	491円	516円	631円	100% (目標値以上)	達成
	58	ブランド化した農水畜産物数	3件	5件	3件	0% (基準値以下)	未達成
	59	新規起業件数	5件	11件	11件	100% (目標値以上)	達成
	60	三沢空港発着便の平均搭乗率（延べ数）	69.7%	72.8%	66.9%	0% (基準値以下)	未達成
政策検証（挑戦分野）					**－**	**54.34%**	**C：政策をおおむね実現できた**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
①従来のイベントが開催されなかったことによる。 ①②食品衛生への意識が高まる昨今、HACCP(ハサップ)※に沿った衛生管理の義務化（R3.6～）や、感染症対策などへ配慮が求められ、試食試飲などこれまでのような販売促進活動が十分にできないことから、参加を希望する事業者も減少していると考えられる。 ※HACCPとは、国際的な衛生管理の手法のことで、食品等事業者自らが、使用する原材料や製造方法等に応じ、計画を作成し、管理を行うもの。	コロナ禍を経た今後は、従来のような商談会・展示会ほかイベント等の開催が回復傾向に向かうものと思われるので、可能な限り機会を捉えつつ対応していきたい。	産業観光課
①コロナ禍による施設の休館はなかったものの、依然として人流の制限がなされていたことから、観光需要自体が減退しており、それに伴って本施策で指標としている市内観光施設利用者数も未達成となったもの。	あおもり10市大祭典in三沢の実施 （指標の延伸に直接的には寄与しないものの、宿泊や周遊等が促進され、観光の促進に資する取組みとなった。）	産業観光課
①コロナ禍で閉店した店舗も多く、購買手段がネットショッピングへ移行したことが影響していると考えられる。	令和5年度より新型コロナウィルスが5類となり、各種規制が緩和され経済活動が再開したことにより歩行者数の多少の増加は見込まれるが、購買目的の歩行者数が戻らないことも予測される。今後は、賑わいづくりを目的としたイベントの開催、まちづくり人材の育成、購買以外の人も集まる仕組みづくりなどに取り組んでいく。	産業観光課
①セミナー等の回数こそ例年並みに戻りつつあるが、コロナ禍を経験したことによる大人数が集まるような研修会への参加自粛や会場の人数制限等の影響により、参加者数が想定より伸びなかったため。	オンラインでの参加も取り入れたハイブリット方式でのセミナーの開催やリモートによる企業説明会等を実施することで、より多くの参加者が見込まれる。	産業観光課
②国における助成金制度（経営所得安定対策事業）の交付要件等の見直しに伴って、農地の貸借契約が解約され、担い手の耕作面積が減少したものである。特に、飼料用作物（牧草）の助成金額が半減したことで、大口の借り手農業者の解約が多数発生し、担い手の耕作面積減少の大きな要因となった。	肥料価格高騰による堆肥需要の増加、また、畜産飼料の高騰などを背景に、飼料用作物の需要の増加は続くものと見込まれているので、畜産向けの飼料作物を生産する農家や農業法人など、新たな借り手の掘り起こしに注力していくとともに、従来の高収益野菜を中心とした大規模経営に向けた農地集約の促進についても継続していく。	農政水産課
		農政水産課
①「ブランド化」の推進は、農水畜産物の認知度が重要となるが、首都圏での緊急事態宣言等で移動制限措置があり、その影響で展示会やイベントの開催が無く、PR活動が出来なかった。また、各種研修会や講習会、生産者等が集まり新商品開発について検討する場が制限されたこともあり、新たな農水畜産物や関連商品の開発は困難であった。	水産物について認知はされているが、今後は農畜産物について一般消費者の認知度を高めるため、首都圏のスーパーや飲食店等で取り扱って頂けるような宣伝活動や大型スーパー鮮魚店でイベントを生産者組合等と連携して実施する。	農政水産課
		産業観光課
①コロナ禍の影響もあり、2020年、2021年と大幅に減少となった。2022年についても、搭乗率は回復傾向にはあるものの、未だに新型コロナの影響はあったものと考えられる。	新型コロナによる制限も緩和され、2022年度の利用者は30万人を突破するなど現在の搭乗率は回復傾向にある。今後においても、令和７年３月までの羽田４便化運行を継続できるよう、JAL、青森県、三沢市と連携を継続しつつ、利用促進に努める。	政策調整課

【政策10】質の高い行政サービスを提供する

分野	施策番号	前期基本計画の指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	2022年度 進捗状況		
					実績値	達成率	達成状況 【 維持100%、挑戦100% 】
維持	61	定住自立圏で実施した事業数	31件	32件	34件	100%	達成
	62	情報漏洩件数	0回	0回	0回	100%	達成
政策検証（維持分野）					**－**	**100%**	**A：政策を実現できた**
挑戦	63	外部機関の研修受講者数（延べ数）	96人	110人	131人	100% (目標値以上)	達成
	64	接遇に係る研修受講者数（延べ数）	622人	730人	83人	0% (基準値以下)	未達成
	65	時間外勤務時間	13,625時間	12,000時間	16,016時間	0% (基準値以下)	未達成
政策検証（挑戦分野）					**－**	**33.33%**	**D：政策をあまり実現できなかった**

維持施策の達成率＝実績値／目標値×１００
挑戦施策の達成率＝（年度の実績値－基準値）／（目標値－基準値）×１００　で算出しております。

未達成理由 （① コロナ禍による影響 ② その他の要因等）	備　考 （達成率には反映できないものの取り組んだ事例 今後の対応策　等）	施策担当課
		政策調整課
		情報システム課
		総務課
②研修実施を予定していた年末から年度末にかけて、市内の農場で発生した鳥インフルエンザ対応のため研修を実施することができず、その後の日程調整もできなかったため。	今後は、コロナ禍で開催されていなかった研修が再び開催されることやコロナ禍で参加できなかった外部研修への参加も可能となることから、研修の受講者数は増加するものと考えられる。また、オンラインでの研修も定着したことから、そういった研修方法も積極的に周知しつつ研修機会の増加に努める。	総務課
①依然として新型コロナの対応に係る時間外業務が多いことに加え、新型コロナの影響により中止となっていた様々な行事等が復活してきたことにより前年度に比し大幅に増加したものである。	これまでと同様に時間外勤務時間の目標を設定することで時間外勤務時間の抑制に対して意識づけを行うなど、ワークライフバランスの推進を図ることとしている。	総務課